

阿波市議会だより

第67号

年4回発行 [令和5年6月1日]

発行/阿波市議会 編集/議会広報特別委員会
〒771-1695 徳島県阿波市市場町切幡字古田201番地1
TEL. 0883-36-8750 FAX. 0883-36-8764
ホームページアドレス <https://www.city.awa.lg.jp/gikai/>

代表質問

榎原 伸 議員
(志政クラブ)



問当初予算案に持続可能な農業に向けた施策は盛り込まれているか。
答令和5年度当初予算案において環境保全型農業直接支払事業については昨年度より大幅に増額した予算としている。具体的には有機農業への取組に対して10a当たり1万4,000円交付など。

問阿波市の医療体制と課題について。
答第7次徳島県保険医療計画では阿波市は徳島市などで構成される東部圏域に位置づけられ、医療機関としては病院3か所、診療所21か所、歯科診療所19か所、常勤医師数33人、常勤歯科医師30人、市全体の病床数232床。医師の高齢化等に伴う医師数の確保や看護職員、介護職員といったマンパワーの確保が課題と考えている。
問阿波市の小学校高学年では教科担任制で授業が行われているか。
答県教育委員会から追加が行われた学校では外国語、理科、算数及び体育で教科担任制が行われている。今後も教科担任制の追加を希望し、阿波市独自の英語講師などを組み合わせて教員の専門性向上や働き方改革につながる取組を実施していく。

問ネーミングライツ(命名権)の阿波市の現状と今後の取組について。また、ネーミングライツに適した公共施設はあるのか。
答本市においては現時点では導入していない。他の自治体の事例も参考に効果等を検証したい。また利用人数が多く宣伝効果の高い施設が導入に適している。今後十分に分析を行い検討していきたい。
問財源の確保について。
答令和4年度からはごみ袋やごみカレンダーに広告の募集を始めた。ネーミングライツを含めた新たな手法についてもしっかりと検討していきたい。

問スクールカウンセラーの配置状況、またその効果と今後の配置計画について。
答各中学校区に1名、阿波市適応指導教室阿波っ子スクールに市費で1名配置している。児童・生徒へのカウンセラーや保護者の相談等、学校の教育相談体制に大きな役割を果たしている。県教育委員会へ配置要望を引き続き行うとともに、市費で1名の増員を考えている。
問スクールカウンセラーに対して、阿波市ふるさと応援基金を活用できないか。
答各小・中学校のスクールカウンセラーの活用状況を確認しながら対応していきたい。

問令和5年度一般会計予算案について。
答少子・高齢化や自然災害、老朽化が進む公共インフラへの対応など、市民ニーズに即した施策を着実に実行するとともに持続可能なまちづくりを積極的に推進する予算とした。
問新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について。
答この交付金は、新型コロナウイルスの感染拡大防止とともに、地域経済や住民生活を支援するため令和2年度に創設されたもので、現在まで総額約16億円が活用限度額となっている。

問森林環境税は令和6年度から市町村民税均等割を払っている国民に年額1,000円課税される。森林環境税と均等割との活用方針は。
答森林環境税は令和6年度から市町村民税均等割を払っている国民に年額1,000円課税される。森林環境税と均等割との活用方針は、

問阿波市防災拠点施設アエルフの災害時の役割について。
答①国の南海トラフ地震にお

問阿波市の実情に合わせて危機管理を始め、福祉、医療、農業や商工業、また観光業の経済分野に予算配分している。
問阿波市における環境問題に対する取組について。
答地震や台風などの自然災害によって発生する災害廃棄物の仮置場については、民間会社3社と協定締結している土地約11.2haと阿波市の市有地などを活用し、必要な仮置場面積は確保できている。
問スポーツ振興としてスポーツコートをはじめ、トレーニング室、フィットネスやダンスが楽しめる多彩な設備が充実した総合施設の整備についての考えは。
答総合施設の施設については、厳しさを増す財政状況もあり、現時点においては整備計画は考えていない。

問阿波市の防災拠点施設アエルフの災害時の役割について。
答①国の南海トラフ地震にお

榎原 浩二 議員
(阿波みらい)

坂東 重夫 議員
(はばたき)

吉田 稔 議員
(阿波みらい)

野口加代子 議員
(無所属)

中野 厚志 議員
(日本共産党)

竹内 政幸 議員
(無所属)

中野 厚志 議員
(日本共産党)

中野 厚志 議員
(日本共産党)

令和5年第1回 阿波市議会臨時会の概要

第1回臨時会は、2月17日に1日の会期で開かれました。藤井市長より辞職届が提出されたことに伴い、「市長の退職の期日に関する同意」について、同意されました。

令和5年第1回 阿波市議会定例会の概要

第1回定例会は、2月27日から3月22日までの24日間の会期が開かれました。
開会日には市長職務代理者町田副市長から、新ごみ処理施設(仮称)阿波スマート・インターチェンジ設置事業等についての行政報告の説明がありました。
また、令和5年度阿波市一般会計予算案などの議案について概要と提案理由の説明がありました。

代表・一般質問は3月9日、13日の2日間にわたり行われ、13人が市政全般について理事者の考えを問う、地方創生・環境・教育・健康福祉・農業関係・建設・情報・財政等について議論しました。
15日に総務、16日に文教厚生、17日に産業建設の各常任委員会を開催し、付託された議案の審査を行いました。
閉会日には、委員長による各常任委員会の審査報告があり、市長職務代理者提出議案をいずれも可決しました。
追加議案として、議員発議として「阿波市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」を提出し、可決しました。更に、委員会発議として「阿波市議会の個人情報の保護に関する条例」を提出し、可決しました。また、予算案件1件、人事案件1件が提出され、いずれも可決・適任としました。
このあと副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新副議長に吉田稔議員が就任しました。

問間伐などの森林整備や土柱周辺の森林保全のための病害虫防除を行っている。今後も木材利用の促進や普及啓発、林道の維持修繕など幅広く森林整備に向けた施策に取り組むか。
答2月に阿波町の家屋火災により近接する光ファイバー幹線が焼失し、長時間ACNが使用不可能となった。危機対応は十分だったか。
答阿波町の約1,310世帯のテレビ放送、音声告知機等のサービスが最大20時間にわたり停止した。今後は広報車を巡回させるなどの障害状況の伝達を行うとともに、早期復旧に向けた体制強化に努める。

問コロナ禍ではあるが、ICT教育は小・中学生にどのような活用され、進化しているのか。
答ICT機器を文房具として活用できるようになってきている。学級閉鎖や自宅待機の児童・生徒がオンラインで授業に参加することもでき、とても役に立った。またSNSによる被害に遭わない力や情報モラルを身につける学習も、外部講師を招き行っている。

問避難所におけるトイレ使用は。
答トイレ処理セットを9万2,500セット備蓄しており、既設の洋式便器にトイレ処理セットの袋を被せ使用する。安全対策として、男女別の既設のトイレを利用することでプライバシーを確保。衛生対策と要配慮者対策としては、避難所運営マニュアルや災害用トイレの確保・管理チェックシートを活用し、衛生環境の維持に努める。

問阿波市防災拠点施設アエルフの災害時の役割について。
答①国の南海トラフ地震にお

問生活保護率は1.41%で、県の1.76%を下回っている。全体の世帯数は378世帯。
問本市では生活保護に冬季加算が適用されているのか。また他にどんな加算が適用され、給付されているのか。
答母子加算・障がい者加算の他に、妊産婦加算・介護施設入所者加算・在宅患者加算・放射線障がい者加算・児童養育加算・介護保険料加算などがあり、該当する方に適用され給付する。過去2年間の鳥獣による農作物の被害状況は。その被害に對してどんな対応・対策をとっているのか。
答令和2年度が、面積で4.48ha、被害金額約458万円。令和3年度が、面積で1.29ha、被害金額約116万円。阿波市猟友会と協力し、イノシシや鹿に対し農薬を設置し駆除。被害が広範囲の場合、有害鳥獣捕獲対策協議会がワイヤーメッシュなどの現物支給を行い、集落ぐるみでの防除対策を実施。カラス等に対しては、花火や爆竹など音による追い払いを実施。

問調査対象者は小学6年生と中学3年生。教科は、小学校が国語・算数・3年に1度理科、中学校が国語・数学・英語。質問紙調査は学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等教科の解答状況を記載した個人票で自分の課題を確認し、保護者との懇談に活用。家庭学習の充実や学力向上につなげる。
問国と本市の保育士配置基準の差と実態について。
答本市では配慮が必要な園児には適宜職員を追加配置するな

問復旧については、まず非出水期である5月末までには仮復旧工事を終え、交通を開放していく予定で、本復旧については国土交通省と協議を進め、一日も早い復旧を目指したい。
問国の肥料価格高騰対策事業及び県の徳島県肥料価格高騰緊急対策事業について。
答要件はあるが最大で85%の支援がある。JAや肥料販売店が窓口になり、ケーブルテレビでも放送し、周知している。
問市内土地改良区への電気代高騰対策について。
答本市では、阿波市農業水利施設・電気料金高騰対策支援事業を実施する。県においても土地改良施設・電気料金高騰対策

問JAあわ市(仮称)営農経済センター新設に伴う、久勝小学校の交通安全対策及び、市道中央東西線と大原山王線の交差点の信号機の新設について。
答小・中学校の児童・生徒の交通安全確保は最重要課題と認識し、毎年通学路危険箇所合同点検を実施する。各学校において交通安全計画を作成するなど、安全確保に取り組んでいる。営農経済センター新設後も車両の通行が増加することを想定し、関係機関と連携・協同し安全確保に取り組む。信号機新設は通学路危険箇所合同点検においても要望が上がり、今後阿波市警察署など関係機関と連携を図り、安全・安心な交通環境の確保に取り組む。
問大野島潜水橋復旧について、2月上旬より橋脚の傾きによる通行止めが続き、善入寺島耕作農家、通学生徒、お遍路さん等が不便をされているが、今後の復旧は。
答復旧については、まず非出水期である5月末までには仮復旧工事を終え、交通を開放していく予定で、本復旧については国土交通省と協議を進め、一日も早い復旧を目指したい。

緊急支援事業を実施しており、重複部分は対象外となる。申請状況は、土地改良区から9件、水利組合から2件、約400万円の申請がある。

笠井 安之議員
(はばたき)



第3次阿波市農業振興計画
策定について。

問 阿波市が農業立市として輝き続けていくために、魅力と活力で次世代につなぐ阿波市農業を将来像とし、その将来像の実現に向け、積極的な施策を図るとともに、国、県、JAとの連携もこれまで以上に密にしていきたい。

答 15の活動組織で36の保全隊が市内の耕地面積約2,611haの内、83%に当たる約2,167haを対象に約1億4,700万円の補助金を受け活動を行っている。

問 今年度までの事業実施効果をとどのように捉えているのか。
答 本事業を活用し農家と農家以外の住民が共同で活動することにより、地域コミュニティの発展に寄与し、担い手農家への負担軽減につながっている。

問 これまでの課題と今後の事業展開をどのように考えているのか。
答 地域における人口減少や農業従事者の高齢化、担い手不足それに伴う遊休農地の増加に加え、保全隊においては、事業制度の複雑化や事務手続きの負担増加などが懸念される。

問 市内の防犯カメラの設置状況はどうなっているのか。
答 市内10の小学校区通学路に各2台、土柱上トイレ横、土柱そば風広場駐車場、道の駅となり駐車場に各1台の合計23台を、令和元年度から3年間で設置している。

問 今年度、数年間の数値目標について。
答 第2次阿波市総合計画では、令和6年度の寄付受入額は8,000万円、納付件数を6,000件と設定している。

藤本 功男議員
(はばたき)

問 新ごみ処理施設における、今年度の業務実績、取組はどのような結果になっているのか。
答 今年度も含め延べ31回の地元説明会、基本計画の策定、生活環境影響調査、事業者の募集などに取り組んだ。入札への参加申し出がなかったことを受け、事業計画の検証作業を進めている。

問 事業計画の検証業務は、どのような内容か。
答 事業方式などを含む事業計画について、課題を抽出のうえ、分析を行い、その結果に基づき検証を行っている。さらに、事業者とのリスク分担の観点を踏まえている。

問 本年度行った環境影響評価の結果は、いつ、どのように公表するのか。
答 生活環境影響調査書としてまとめ、組合や市2町のホームページ等で公表する。

問 今後のスケジュールは、どうなっているのか。
答 1市2町で検討、調整し、対応方針がまとまり次第、改めて説明する。

問 ふるさと納税の現状について。
答 今年度は、1月末現在、寄付額が約8,290万円で、過去最高の見込みである。要因としては、株式会社パンクチュアルが業務を担い、新たな返礼品開発などに取り組んでいることが挙げられる。

黒川 理佳議員
(無所属)

問 公・民協働のまちづくりについて。現在の阿波市の予算状況は。
答 市長辞職という特別な状況の中、市民への影響を最小限に抑えるため、令和5年度当初予算案を提案した。新市長就任後は、その政策に基づき検討・調整をしながら反映させていく。

問 公施設の活用・改修・建設の際に、市民の声を取り入れる方法として、トライアル・サウンディングを取り入れてみてはどうか。
答 阿波市公共施設個別管理計画の今年度から15年間の計画を改定するため、パブリックコメントを実施した。トライアル・サウンディングについては、資産の新しい活用方法を見出すことにつながると思われることから、調査研究をしていく。

後藤 修議員
(はばたき)

問 あわめぐりのインターネット予約とどのようなものか。また、利用登録を何故インターネットでできないのか。
答 ID、パスワードを使用し、予約が取れるようになる。利用登録については、申請者が住民基本台帳に登録されていることを確認する必要があり、現在の申請方法でお願いしている。

問 橋梁の点検・評価方法及びその開示状況は。
答 近接目視により行う。必要であれば、打音や触診等の手段も併用する。評価方法については、4段階で評価・区分し、ホームページで公表している。

問 役職定年後の給与引き下げとやりがいについて。また、定年延長による新規採用の方針はどのようなものか。
答 知識や経験がより活かせる業務への配置など、仕事のやりがいを感じるよう検討していく。新規採用については、年齢構成などバランスのとれた適正な定員管理を行い、新規職員を計画的に採用していく。

問 公共施設の太陽光発電の運用状況と、公共施設における省エネ、LED化の進捗状況は。
答 伊沢小学校、吉野、土成、市場中学校の4校に配置し、自家消費と売電を行っている。庁舎では全て自家消費しており、売電はしていない。LED化については、新たに建て替えた公民館についてはLED照明となっている。

木村 松雄議員
(志政クラブ)

問 行政デジタルトランスフォーメーション推進事業と、本市における今年度のデジタル化への取組状況について。
答 昨年より、各課よりPTメンバーを選任し、阿波市デジタル推進プロジェクトチームを立ち上げている。今年度デジタル化に取り組んだ主な事業としては、阿波市公式LINEを活用し、LINE上から道路や公園遊具の破損、街路灯の球切れを担当課へ報告可能とする不具合簡所報告といった双方向の行政サービスが享受できる機能を追加した。

武澤 豪議員
(志政クラブ)

問 阿波市では多種多様な農産物が生産されている中、温暖化や自然災害の多発により廃棄される野菜は増加傾向にある。農家の増収や、雇用の確保、海外への輸出、エシカル消費やSDGs、食糧危機にもつながる。
答 阿波市では多種多様な農産物が生産されている中、温暖化や自然災害の多発により廃棄される野菜は増加傾向にある。農家の増収や、雇用の確保、海外への輸出、エシカル消費やSDGs、食糧危機にもつながる。

北正弘
(北正弘)

議会だより 編集雑感
4月10日付けの新聞に「知事に後藤田氏、飯泉県政20年で幕」との見出しが同時に県議会選挙では38人(現職25人、元職1人、新人12人)が決定。阿波市では2月に藤井前市長が任期半ばで辞職。4月23日に町田寿人氏が新市長として誕生しました。県・市ともに新しいリーダーでのスタートとなりました。山積している阿波市の課題を解決するためにも、今まで以上に県と市が連携を取る以外方法はないと思います。それが1番の難題かもしれません。町田新市長に絶大な期待をします。
私も市議会議員の一人として、市政運営を注視しながら安全安心な環境づくりを市民目線で取り組んで参ります。

起立採決結果
賛成 15 反対 4 賛成多数により可決

起立採決結果		賛成	反対	欠席
発議第1号				
阿波市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について				
原田 定信	○	木村 松雄	×	
志政クラブ		松村 幸治	○	
原田 健資	×	椋原 伸	○	
武澤 豪	○	笠井 一司	○	
原田 健資	×	武澤 豪	○	
阿波みらい		三浦 三一	○	
三浦 三一	○	阿部 雅志	○	
吉田 稔	○	吉田 稔	○	
はばたき		椋原 浩二	○	
藤本 功男	○	笠井 安之	○	
坂東 重夫	○	藤本 功男	○	
後藤 修	○	坂東 重夫	○	
日本共産党		後藤 修	○	
中野 厚志	×	中野 厚志	×	
公明党		北上 正弘	○	
竹内 政幸	○	竹内 政幸	○	
野口加代子	○	野口加代子	○	
黒川 理佳	×	黒川 理佳	×	

○：賛成 ×：反対 欠：欠席
※笠井一司議員は議長のため採決に加わりません。

行政デジタルトランスフォーメーション推進事業と、本市における今年度のデジタル化への取組状況について。
答 昨年より、各課よりPTメンバーを選任し、阿波市デジタル推進プロジェクトチームを立ち上げている。今年度デジタル化に取り組んだ主な事業としては、阿波市公式LINEを活用し、LINE上から道路や公園遊具の破損、街路灯の球切れを担当課へ報告可能とする不具合簡所報告といった双方向の行政サービスが享受できる機能を追加した。

令和5年度の当初予算案に反映した事業について。
答 LINE電子申請システムの導入は本市が四国で初めて実施する自治体となる。現在窓口での受付や郵便により行っている戸籍謄本などの戸籍関係書類並びに所得証明書などの税証明書が市公式LINE上から申請可能となる。マイナンバーカードによる厳格な本人確認を行い、支払いについてもキャッシュレス決済に対応するシステムである。また、24時間、365日、スマートフォンといった通信機器を使用し、市の施設空き状況の確認や予約を行うことが可能になる。今後ますます人口減少、少子・高齢化が進む中で、行政DXの役割は大きく、

事務の効率化による行政改革を着実に推し進める。
答 阿波市総合戦略において、持続可能なまちづくりを推進するため、雇用の創出を最重要課題の一つと位置付け、積極的に企業誘致に取り組んでおり、一次産業関連企業の誘致に成果が表れている。カット野菜は単身世帯、共働き世帯の増加や高齢化など多様なニーズから需要が高まる傾向にあり、食品ロス、廃棄物の削減などの観点からも注目をされていると考えられる。今後においても情報収集に努め、野菜食品加工事業者をはじめとする農業関連企業などの誘致活動を展開し、さらなる地元雇用の確保や地域の活性化に努める。

令和5年第1回阿波市議会臨時会 議案番号及び議決結果一覧表 (2月17日)

議案番号	議案名	議決結果
一	市長の退職の期日に関する同意について	同意

令和5年第1回阿波市議会定例会 議案番号及び議決結果一覧表 (2月27日～3月22日)

議案番号	議案名	議決結果
請願第3号	「不登校児童生徒に対して多様な学習機会の確保のための経済的支援制度の確立を求める意見書」の採択を求める請願	取り下げ
議案第21号	令和4年度阿波市一般会計補正予算(第9号)について	原案可決
議案第1号	令和4年度阿波市一般会計補正予算(第10号)について	原案可決
議案第2号	令和4年度阿波市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決
議案第3号	令和4年度阿波市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第4号	令和5年度阿波市一般会計予算について	原案可決
議案第5号	令和5年度阿波市御所財産区特別会計予算について	原案可決
議案第6号	令和5年度阿波市国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第7号	令和5年度阿波市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第8号	令和5年度阿波市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について	原案可決
議案第9号	令和5年度阿波市介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第10号	令和5年度阿波市農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第11号	令和5年度阿波市水道事業会計予算について	原案可決
議案第12号	阿波市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決
議案第13号	阿波市個人情報保護審査会条例の制定について	原案可決
議案第14号	阿波市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	阿波市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	阿波市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	板野町と阿波市のペットボトルの処理に関する事務の委託に関する規約について	原案可決
議案第18号	上板町と阿波市のペットボトルの処理に関する事務の委託に関する規約について	原案可決
議案第19号	阿波市道路線の認定について	原案可決
議案第20号	阿波市道路線の変更について	原案可決
報告第1号	債権の放棄について	-
議案第22号	令和5年度阿波市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
-	市長職務代理人副市長の退職の期日に関する承認について	承認
発委第1号	阿波市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
発議第1号	阿波市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
-	副議長選挙について	選挙
-	徳島中央広域連合議会の議員選出について	選挙